

健康診断時の採血だけで同時測定できます！

腫瘍マーカー

シフラ(肺扁平上皮癌)

CYFRAは扁平(へんぺい)上皮がん、大細胞がん、腺がんといった非小細胞がんの高い陽性率を示します。肺門部と呼ばれる肺の中樞に発症しやすいがんです。また、胃癌や子宮頸癌、食道癌といった肺癌以外の扁平上皮癌のマーカーとしても有用です。

AFP(肝細胞がん)

肝がんの腫瘍マーカーとして知られています。その他、卵巣がん、胃がん、肝炎、肝硬変などのスクリーニングや診断、病状の経過観察に有用性の高い腫瘍マーカーです。軽度上昇は、肝炎、肝硬変などの可能性、重度上昇では高い確率で肝がんが疑われます。

CEA(消化器系がん)

大腸がんをはじめとする各種消化器系がんや肺がんなど様々ながんのスクリーニングに幅広く使われている腫瘍マーカーのひとつです。肝硬変・膵炎・腎不全・甲状腺機能低下でも高値になることがあります。

PSA(前立腺がん)

前立腺がんや前立腺炎、前立腺肥大などの病気で値が上昇します。前立腺の病気が疑われるときに、はじめに行われるスクリーニング検査として利用されます。

CA15-3(乳がん)

初期の乳がんではほとんど陽性を示しませんが、転移性乳がんには陽性率が高く、手術後の経過観察に大変有用な腫瘍マーカーです。乳がんの代表的な腫瘍マーカーですが、卵巣がん・膵がん・肺がんなどでも陽性を示すことがあります。

CA19-9(膵臓がん)

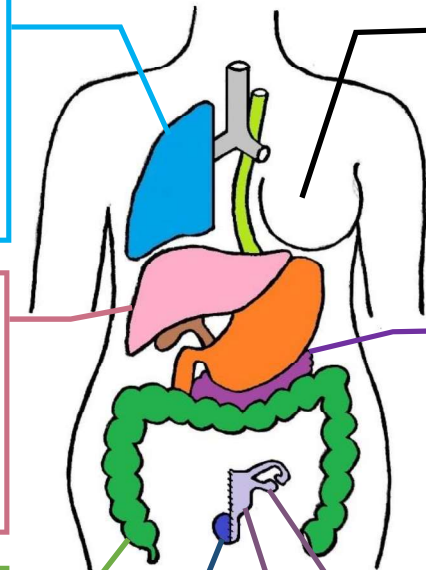
消化器系の腫瘍マーカーとして広く用いられています。特に膵臓がん・胆道がんで高値を示しますが、他に胃がん・大腸がん・肝硬変・肝炎・子宮筋腫でも値が上がります。

CA125(卵巣・子宮がん)

卵巣がん診断の基本となる腫瘍マーカーです。そのほか、子宮内膜症・子宮腺筋症で敏感に反応して値が上がります。そのため、CA125はこれらの病気のスクリーニング検査や経過観察、治療判定の目安に利用されています。

SCC抗原(子宮頸がん)

子宮頸がんを調べる代表的な腫瘍マーカーです。その他に肺・食道・尿路・皮膚などの各扁平上皮癌にも反応を示します。



特別料金セット項目

男性セット(CEA + AFP + PSA)

日本人男性がかかりやすいがんの検査項目です。消化器がん、肝細胞がん、前立腺がん検査が1度に来る、大変お得なセット項目となっております。

女性セット(CEA + CA125 + CA15-3)

女性からの御要望の声が多く、実現いたしました。消化器がん、子宮・卵巣がん、乳がんの検査が1度に来る大変お得なセット項目となっております。

その他オススメ項目

LOX-index(脳梗塞・心筋梗塞)

脳血管疾患・心疾患の年間死亡率はがんと同水準。脳梗塞・心筋梗塞の将来リスクをお調べします。

アレルギー検査39項目(View39)

スギ・ヒノキ等の花粉を代表する検査を始め、数種類のカビやダニ、牛乳・卵・ピーナッツ・小麦...等々、39種類のアレルギー検査を判定いたします。

胃がんリスク検査【ABC検診】

(ヘリコバクター・ピロリ抗体+ペプシノゲン)

ピロリ菌抗体とペプシノゲンを同時に検査し、胃がんになり易いかどうかをABCの判定で御報告いたします。

総合的な検診事業を目指す

医療法人 宇都宮健康クリニック

〒321-2116 宇都宮市徳次郎町5-5

TEL:028-666-2201 FAX:028-666-2202

※がんがあっても必ず腫瘍マーカーが上昇するとは限りません。

※個人の体質・体調により異なりますので、腫瘍マーカーだけで、がんを特定することはできません。指標の検査項目です。